

日本ユニシス クラウド型タクシー配車システム「smartaxi[®]」が「Ringo Pass[™]」と連携 ～ 国際自動車の次世代タクシーシステムと JR 東日本のモビリティ・リンケージ・プラットフォーム「Ringo Pass」が連携。移動サービスの利便性向上を目指します ～

日本ユニシスは、国際自動車の次世代タクシーシステムと、JR 東日本が実証実験で使用するモビリティ・リンケージ・プラットフォーム「Ringo Pass」を連携する仕組みを11月から提供開始します。

国際自動車の次世代タクシーシステムは、日本ユニシスのIP無線（携帯電話回線）を利用するクラウド型タクシー配車システム「smartaxi」を活用して構築し、都内約3200台のタクシーで2017年11月から稼働しています。

「smartaxi」の車両および料金情報と「Ringo Pass」が連携することで、利用者は「Ringo Pass」のみで車両検索や支払いを行うことができ、ストレスフリーかつシームレスな移動が実現します。また、電車と二次交通としての自動車（タクシー）との橋渡しを行なうことで、さらなる社会インフラの整備および移動の利便性向上が図れます。



Ringo Pass

【背景】

日本ユニシスは、クラウド型タクシー配車システム「smartaxi」を全国のタクシー事業者に提供しています。国際自動車の次世代タクシーシステムは、この「smartaxi」を活用して構築しており、汎用的で拡張性の高いタブレットとクラウドを利用しているため、機能追加や他サービスとの連携がスムーズに行うことができます。この特徴から、JR 東日本が実証実験で使用するモビリティ・リンケージ・プラットフォーム「Ringo Pass」との連携も可能になります。

【実証実験内容】

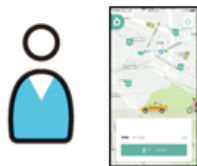
モビリティ・リンケージ・プラットフォーム「Ringo Pass」は、JR 東日本が現在サービスごとに提供している情報の検索・確認や、必要とされる登録・購入・決済などの手続きを一元的に利用できるアプリケーションです。「Ringo Pass」での実証実験では、「交通サービスを探す」、「Suica[®]を交通サービスの鍵として使用する」、「クレジットカードで支払う」の機能を開発し、駅からシェアサイクルやタクシーのシームレスな利用の実現を目指し、モニター企業数社の社員を対象として行います。

【タクシーでの実証内容】

- ① タクシーを探す：周辺を走行しているタクシーの場所が表示され、効率良く探すことが可能。
- ② チェックイン：タクシーに乗車後、車内のQRコードを読み取るとことで事前に決済予約。
- ③ 支払い・交通費精算：目的地に到着し、タクシーメーターを「支払い」にすると、金額が確定し、利用者は金額を確認しそのまま降車。レシートは利用1件ごとにメールで届くため、交通費精算に活用。

①【タクシーを探す】

利用者



※2画面は開発中のものです

②【チェックイン】



③【支払い・交通費精算】



■タクシー料金のスマホ決済

実施期間	2018年11月～ 開始を予定
実施地区	東京23区、武蔵野市、三鷹市

【今後の展開】

日本ユニシスは、「smartaxi」をタクシー利用者とタクシー事業者をつなぐ仕組みに留まらず、さまざまな業界やサービスと連携するビジネスエコシステム（プラットフォーム）として成長させたいと考えています。今回のモビリティ・リンケージプラットフォーム「Ringo Pass」との連携は、その第一弾の取り組みとなります。今後もより良い社会の実現に向けた革新的なサービスを創造していきます。

以上

※ smartaxi（スマートタクシー）は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※ Ringo Pass（ロゴ）、Suica は、東日本旅客鉄道株式会社の商標または登録商標です。

※ その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※関連 URL：

クラウド型タクシー配車システム「smartaxi」

<http://www.unisys.co.jp/solution/lob/transport/smartaxi/>

2017年6月15日付ニュースリリース

日本ユニシス

国際自動車の次世代タクシーシステムを クラウド型タクシー配車システム「smartaxi」で構築。

都内約3200台のタクシーで2017年秋から稼働開始

https://www.unisys.co.jp/news/nr_170615_smartaxi.html

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。